

# 「ミズ乾燥粉末と還元型CoQ10の組み合わせに成果」

(元京都大学大学院医学研究科教授) 白川 太郎氏

～治療現場におけるサプリメント活用の可能性～



ヘルスケアセミナー「あなたの未来は変えられるーサプリメント、合剤の可能性ー」(主催:エージー)が2月19日、都内で開催され、サプリメント事業者や医療関係者ら700余人が参加した。セミナーでは、アカサカフロイデクリニック院長の白川太郎氏が、「アルツハイマーとの闘い」と題して講演した。

## 西洋医学一辺倒からの転換

英国オックスフォード大学医学部から帰国し、京都大学医学部教授に就任したのは2009年です。帰国当時は、立派な研究費の手当てを申請してなかったため、最初の1年間は時間的な余裕があり、北海道から九州まで降参遊歴に明け暮っていました。北海道での降参の際には、北海道から九州まで降参遊歴に明け暮っていました。北海道での降参の際には、北海道から九州まで降参遊歴に明け暮っていました。

現在でも抗がん剤の生存率は7%程度です。初期は、がん細胞の増殖を遅くして体内のリンパ球と他の免疫細胞が存在する状態です。中期に効果的ながん治療はないかという点に焦点を絞り、各種の検証を行ってきました。現時点では、標準治療に、遺伝子治療や免疫治療、温熱療法のほか、栄養療法も併せた手法が有効です。

## ミトコンドリア機能改善がカギ

体内でエネルギー産生を行うミトコンドリアは、筋肉や神経細胞に多く、エネルギーの3分の1は脳だけで必要としています。ところが、がん細胞はミトコンドリアを一切使わずに生存します。ミトコンドリアの機能を下げないという点は、がんの治療だけでなく、アルツハイマー病や糖尿病の治療にも共通しています。生活習慣病は全てミトコンドリアの機能不全ですので、これを改善する治療が有効です。

## 標準治療+遺伝子治療+免疫治療+温熱療法+栄養療法

がんは、1期(早期がん)、2期(進行がん)、3期(進行がん後期)、4期(末期がん、遠隔転移がん)までステージが分かち、17期ごとの生存率が5%程度と極端に低く、

## 希薄する治療法のない「認知症」

一方、認知症の治療の歩みについてみると、昨年、世界最大手の製薬メーカーが相次ぎ開発断念を宣言したほか、世界の先進医療や最先端メーカーによる開発競争も勝利はまだ見えず、現状では、発症予防治療法は世界最速の超高齢社会の日本では、認知症はMCI(軽度認知障害)含め現在300万人で、85歳まで発症率は増加しますが、家族や社会を巻き込んだ国家的課題です。高齢者の認知症は、脳血管障害、生活習慣病の要素が3割を占め、これは今後改善、抑制が可能ですが、問題は6割を占めるアルツハイマー型認知症です。

認知症の原因は、ほぼ判明しています。6割を占めるアルツハイマー型認知症は、脳神経細胞死に起因し、直接的には、「アミロイドβタンパク質」の蓄積が原因です。ただ、原因が分かっているにも、アミロイドβの沈着を阻害する、あるいは沈着物を溶かす視点での治療法は失敗し、成功していません。沈着を促す酵素を阻害するアプローチも成功していません。

しかし、治療法は確立された心(心)と手(手)や足(足)の筋力、歩行能力があります。アミロイドβタンパク質の沈着は「海馬の萎縮」について、これら単一の原因は、「沈着を阻害する溶かす」沈着を促す酵素を阻害する」といった方法に加え、遠方的なアプローチや、サプリメントの活用など、複合的効果の組み合わせ効果に期待があります。

## ミズ乾燥粉末と還元型CoQ10の組み合わせに成果

実際、認知症治療における複合的な効果の組み合わせとして、様々なアプローチを行いました。ミズ乾燥粉末と還元型CoQ10を組み合わせ、摂取した脳血管がん患者

2人のケースでは、MRIによる海馬の大きさを比較(国立西尾理理学研究所の定例教授推薦)による比較を行った結果、ミズ乾燥粉末と還元型CoQ10を組み合わせて摂取したことで、記憶障害、判断力の低下が明らかに改善しました。私の認知症ケア経験は、骨が脳血管出血でアルツハイマー型認知症になったことに起因します。母は、昭和6年生まれの86歳で、一時期は150cm70kgでした。その母が認知症になり、本人、家族、社会へのインパクトの大きさを実感しました。

母の認知症治療には、ミズ乾燥粉末、還元型CoQ10、プラズマローグンを活用しました。その結果、ミズ乾燥粉末と還元型CoQ10を組み合わせて摂取することで効果が止まりました。残念ながら記憶力はそんなに上がらなかったですが、プラズマローグンを摂取したことで、家族の名前が覚えていくようになりました。

母は今後の課題ですが、ミズ乾燥粉末は「溶かす」、プラズマローグンは「神経細胞死が神経細胞で働く」ということが推測されます。こうした薬材を組み合わせておこなったら、併発の問題や、見当識など副作用の発生に期待できるという期待も持てます。実際、ミズ乾燥粉末と還元型CoQ10の合剤は、記憶力を著しく向上させる効果も期待されています。

## お申し込み期限

2月5日(月)まで

# あなたの未来は変えられる

統合医療でご活躍の「アカサカフロイデクリニック院長白川太郎先生」によるサプリメント合剤についての可能性を熱く、そして、クールに語っていただきます。質疑もありますので興味のある方は是非ご参加下さい。



アカサカフロイデクリニック院長 白川太郎先生

京都大学医学部卒業後、英国オックスフォード大学医学部呼吸器科講師を務め遺伝子免疫学疫学研究者として、「ネイチャー」「サイエンス」に多数の論文も発表され、2000年京都大学大学院医学研究科教授に就任。2001年には理化学研究所遺伝子多型研究センターアレルギー体質関連遺伝子研究リーダーも兼任されました。現在では、アカサカフロイデクリニック院長として、ますますご活躍奮闘中です。がんの専門医でもある白川先生が見た還元型CoQ10+ミズ乾燥粉末LR末Ⅲの合剤のパワー。

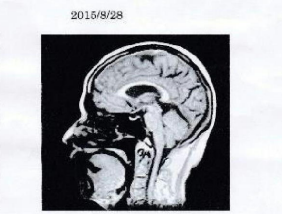
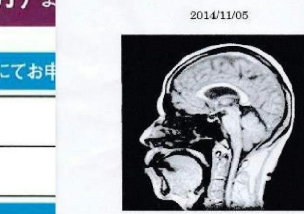
株式会社カネカ(原料供給元)  
還元型CoQ10研究者 藤井健二  
のエビデンスとそのメカニズムについて

協力的会社 株式会社セレストムライ(村)

## Brief Report on Pilot Trial of Q10

- (1) Purpose: Q10 is the special supplement designed for Alzheimer's disease and lower limb venous thrombosis. It includes Coenzyme Q10 with special thrombolytic agent: from an earth worm. So far some reports from patients have been reported, but no critical evidence has been made by clinical doctors. Therefore, we will try to organize the small pilot study against Alzheimer's disease.
- (2) Methods: 5 patients with the diagnosis of Alzheimer's disease at the hospital have been included in this study. They receive at least 4 pills per day on the basis of their severity. They started taking pills for 3 months, and they were given special MRI and blood tests before and 6 months after they received it.
- (3) Institution: This study is done by Dr. Taro Shirakawa at the Tokyo Central Medical Clinic in Tokyo.
- (4) Results: 2 of them have been able to receive 4 pills/day for 3 month, and taken MRI tests again. We received reports from their doctors, and on the basis of the reports, they recovered 12% and 9% of brain areas at MRI and questionnaire, respectively. No particular exacerbation of blood test values were recorded after 3 months trial of this drug on both patients. 2 of other patients were unfortunately dead after they finished trials without any clear relationship with this pill.

(1) Case I: 79yr old female who was diagnosed as severe Alzheimer's disease with low grade of hippocampus degradation



下記ご記入の上、FAXにてお申し込み

会社名  
住所  
お問い合わせ  
エージー株式会社  
〒108-0073  
東京都港区三田2-10-6レオパビル8F

TEL 03-5476-8011 FAX 03-5476-8020



## 臨床試験

- 対象患者様 No.1.2 及び No.3.4 は同一施設にて実施
- AD：アルツハイマー病
- 海馬回復：MRI画像処理データ、投与開始時との比較
- 解析：国立生理学研究所(岡崎)

No.	患者	病状	投与	海馬回復	一般症状	参考
1	♀ 79歳	海馬損傷 (軽度)	経口 (3か月)	12%	改善	不明
2	♂ 82歳	海馬損傷 (中程度)	経口 (3か月)	9%	改善	不明
3	♀ 74歳	AD (高度)	経口 (12か月)	12%	改善	4点改善 (長谷川式)
4	♂ 84歳	AD (高度)	経口 (12か月)	6%	軽度改善	3点改善 (長谷川式)

データ提供：アカサカフロイデクリニック院長 白川 太郎 先生